

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「（仮称）深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

（仮称）深谷通信所跡地 公園整備事業

環境影響評価方法書の概要

令和3年10月11日

横浜市

1

本日の説明内容

- 1 都市計画対象事業の概要
- 2 配慮書からの変更点
- 3 配慮市長意見の内容及び
都市計画決定権者の見解
- 4 環境影響要因の抽出及び
環境影響評価項目の選定
- 5 調査、予測及び評価の手法
- 6 方法書対象地域

2

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

1 都市計画対象事業の概要

3

事業計画の概要

方法書p.2-1~2-3

都市計画決定権者の名称並びに当該対象事業を実施しようとする者の氏名及び住所

【都市計画決定権者】
横浜市
【当該対象事業を実施しようとする者】
名称 横浜市
代表者の氏名 山中 竹春
主たる事務所の所在地
横浜市中区本町6丁目50番地の10

都市計画対象事業の名称

(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業

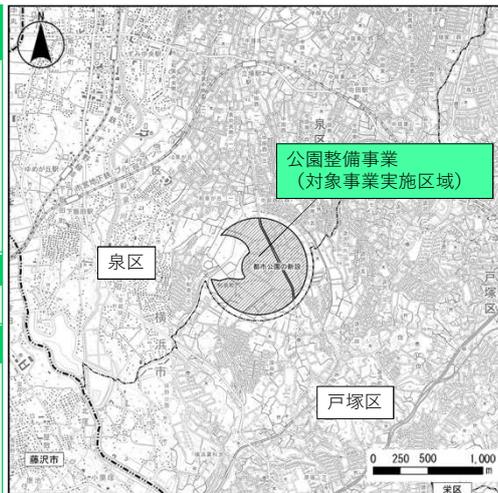
都市計画対象事業の種類、規模

運動施設、レクリエーション施設等の建設：
都市公園の新設

(第1分類事業)
敷地面積：約48ha
形質変更区域面積：約48ha
※事業全体(対象事業実施区域)の面積：約48ha

対象事業実施区域

横浜市泉区和泉町、中田町地内



凡例

▨: 対象事業実施区域

---: 市境

---: 区境

4

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称)深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

事業の目的及び必要性

方法書p.2-4

- 自然・スポーツ・文化等広く利用者をひきつけるテーマを備えた大規模な緑の空間の形成を目指す。
- 郊外部の再生・活性化・都市インフラの強化、市民の健康づくり、緑の保全・創出、災害に強いまちづくり等への対応を図る。



- 災害時に広域的な防災拠点として利用できる防災機能の充実
- 豊かな自然環境を創出
- 市民の活動拠点となる広場や多様な市民ニーズに応えるスポーツ施設等を備えた魅力的な公園の整備

5

事業計画の内容 (テーマ)

方法書p.2-6

テーマ：『緑でつながる魅力的な円形空間』

- 市民が楽しみながら元気になれる
「健康・スポーツの拠点」をつくります。
- 「人と人」「過去と未来」をつなぎ、
「人と自然」をそだてます。
- 「人と地域」を災害からまもり、
「緑豊かな環境」をまもります。

※深谷通信所跡地利用基本計画（平成30年2月）から引用

6

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「（仮称）深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

事業計画の内容（整備方針）

方法書p.2-6~2-7

■ 整備方針

- ・ 防災機能の確保
- ・ 地域の人がふれあう広々とした空間の創出
- ・ 豊かな自然環境の創出
- ・ 市民の健康づくりへの寄与
- ・ 全市的・広域的な課題への対応
- ・ 歴史、景観、環境への配慮
- ・ 社会経済状況への配慮

※深谷通信所跡地利用基本計画（平成30年2月）から引用

7

ゾーニング図

方法書p.2-8



- A：ふれあいとにぎわいの広場ゾーン（公園）
- B：スポーツパークゾーン（公園）
- C：緑とやすらぎのメモリアルゾーン（墓園）
- D：外周道路ゾーン

8

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称)深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

施設配置計画

方法書p.2-18~2-22

- ・ 広大な敷地を生かして、人と地域を災害から守り、緑豊かな空間の中で健康づくりに寄与する公園とする。
- ・ 広域かつ地域の防災性向上に貢献する。
- ・ レクリエーションやイベント、自然とのふれあい、文化活動等の様々な利用の拠点となる広場、施設、及びスポーツ施設の整備を図っていく。

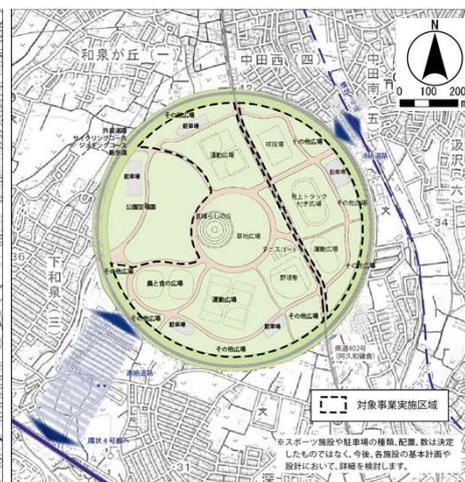
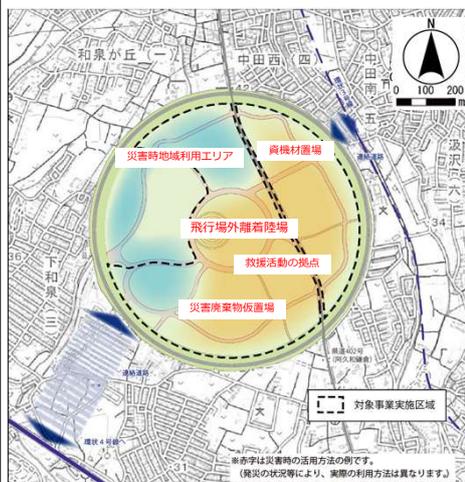
9

施設配置計画

方法書p.2-18~2-22

【災害時の跡地利用計画図】

【平常時の施設配置計画図】



資料：「深谷通信所跡地利用基本計画」（横浜市、平成30年2月）

資料：「深谷通信所跡地利用基本計画」（横浜市、平成30年2月）

10

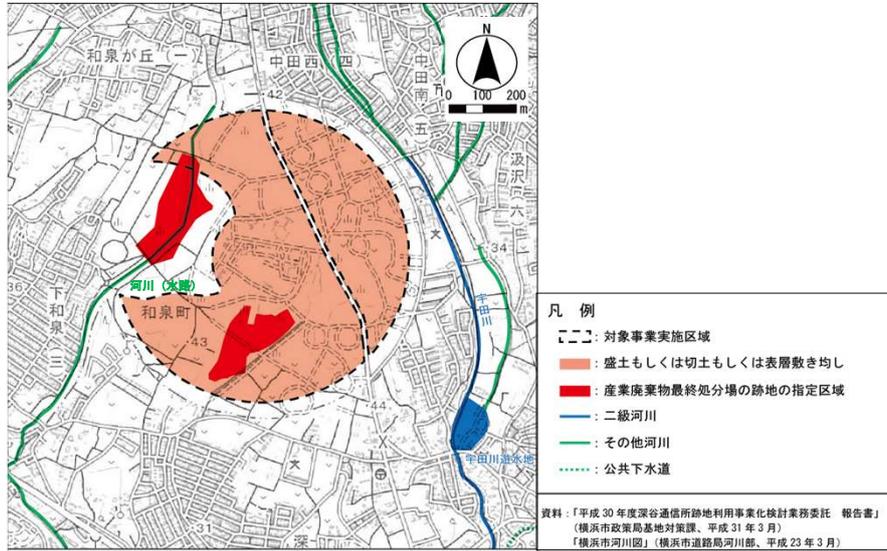
◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称)深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

エリア構成と主な施設

方法書p.2-18~2-22

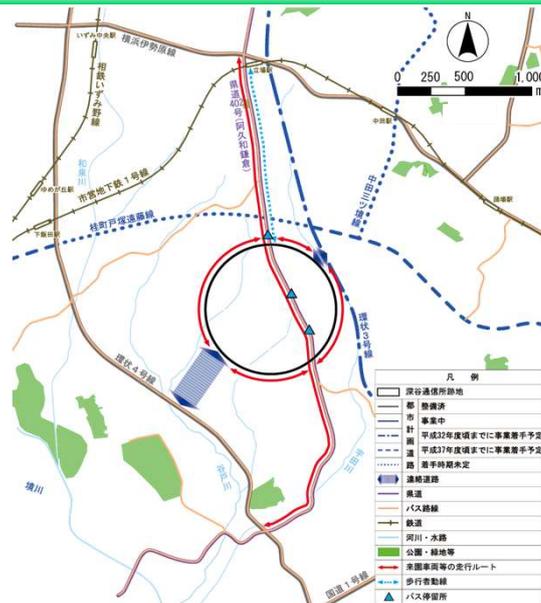
【形質変更区域図】



11

動線計画

方法書p.2-15~2-16



※深谷通信所跡地利用基本計画(平成30年2月)から引用 12

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称)深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

施工計画 方法書p.2-17

- ・令和5年度の都市計画決定を目指して手続を進め、手続終了後5年間程度の着工準備期間を経て、工事に着手します。
- ・早期に市民利用ができるよう、完成した場所から順次部分供用し、着工後15年程度で全面供用開始を想定しています。

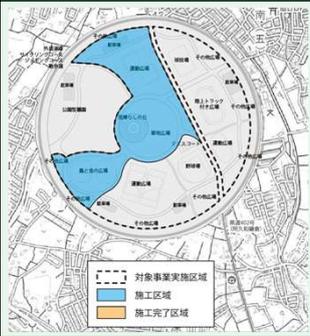
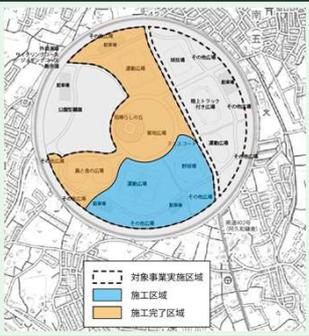
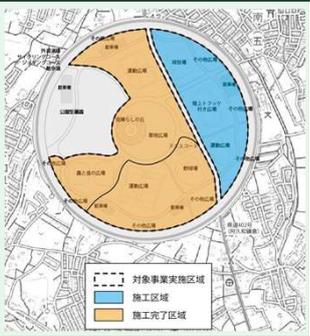
着工準備期間		第1期	第2期	第3期
5年間程度		着手～5年程度	着手後5年～10年程度	着手後10年～15年程度
公園	着工準備期間	整備・供用	整備・供用	整備・供用
墓園		整備・供用		
外周道路	着工準備期間	整備・供用	整備・供用	整備・供用

※本事業と墓園事業及び外周道路事業の第1期、第2期、第3期は、各工事の進捗に応じて異なる期間となります。

13

施工計画 方法書p.2-24

- ・深谷通信所跡地の全体面積が約77haと大規模であるため、本事業と墓園事業及び外周道路事業は、概ね3期に分けて、段階的な計画・整備を行います。

公園整備 第1期	公園整備 第2期	公園整備 第3期
(着手～5年程度)	(着手後5年～10年程度)	(着手後10年～15年程度)
		

14

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

2 配慮書からの変更点

15

配慮書からの変更点

方法書p.1-1

都市計画対象事業の計画内容

変更点	概要
都市計画対象事業の種類、規模	事業計画の進捗に伴い、敷地面積、形質変更区域面積及び事業全体(対象事業実施区域)の面積を更新しました。(約50ha→約48ha)
対象事業実施区域	事業計画の進捗に伴い、更新しました。
スケジュール	事業計画の進捗に伴い、更新しました。
施設配置計画	事業計画の進捗に伴い、更新しました。
駐車場計画	事業計画の進捗に伴い、更新しました。
施工計画	新たに「施工計画」の項を起こし、現時点での工事概要等を記載しました。
地球温暖化対策	新たに項を起こし、現時点での方針等を記載しました。
生物多様性の保全	
緑の保全と創造	
環境配慮検討の経緯	事業計画の進捗に伴い、更新しました。

16

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称)深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

配慮書からの変更点		方法書p.1-1
■ 地域概況		
変更点	概要	
全般	配慮書の公告・縦覧以降、既存資料が更新されたものについては、既存資料の時点更新を行いました。	
■ 配慮の内容		
変更点	概要	
全般	配慮市長意見書を踏まえ、配慮の内容を更新しました。	

17

環境情報の概要			方法書p.4-7
項目	環境情報の概要	都市計画決定権者の見解	
湧水	1-1, わきみずの森の湧水は、深谷通信所跡地に広い流域を持ち、地下水が供給されていますが、水量が少なく、数年に1度涸れる状況にあります。	<ul style="list-style-type: none"> 今後の環境影響評価の手続きにおいて、「わきみずの森」の湧水について、水循環（地下水位及び湧水の流量）の項目の中で、調査、予測、評価を行います。 	
動物	1-2, わきみずの森には、水生小動物としては、オタマジャクシ、サワガニ、ヤゴ、カワニナ、アメンボ、ユスリカ等が、昆虫としては、カブトムシ、バッタ、カミキリムシ、トンボ、チョウ等が、鳥類としては、ウグイス、キジ、カラス、シジュウカラ、スズメ等が、またカエル、ヘビ、トカゲ、リス等が多数生息しています。	<ul style="list-style-type: none"> 今後実施する動物の予測評価の中で、「わきみずの森」の動物、植物、生態系に影響が生じないように検討して参ります。 今後の環境影響評価の手続きにおいて、「わきみずの森」の動物、植物、生態系について、生物多様性（動物、植物、生態系）の項目の中で、調査、予測、評価を行います。 	
文化財	2, 敷地内にはこの耐弾式地下送信所のほかにも、戸塚分遣隊が設置した未確認の施設が存在する可能性があります。	<ul style="list-style-type: none"> 今後実施する埋蔵文化財調査の中で、施設の有無について確認します。 	

18

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称)深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

3 配慮市長意見の内容及び 都市計画決定権者の見解

19

配慮市長意見の内容及び都市計画決定権者の見解

方法書p.4-9

■ 全般的事項 (1)

	意見の内容	都市計画決定権者の見解
(1)	配慮事項に対する配慮の内容を適切に事業計画に反映させるとともに、検討するとしている事項については、各々の検討状況を方法書に記載すること。	配慮事項に対する配慮の内容について、各々の検討状況を方法書に記載しました。第2章2.5.2環境配慮検討の経緯等において、配慮事項の配慮の内容の記載を追記しました。
(2)	今後の事業の進展においては、本市の最新の計画等と整合を図るなど、 <u>適時、適切な配慮内容となるよう努めること。</u>	今後の事業の進捗に合わせて本市の最新の計画等と整合を図るとともに、 <u>適時、適切な配慮内容とするよう努めます。</u>

20

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称)深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

配慮市長意見の内容及び都市計画決定権者の見解 方法書p.4-9

■ 全般的事項 (2)

	意見の内容	都市計画決定権者の見解
(3)	「(仮称)深谷通信所跡地墓園整備事業」と連携し、それぞれの事業特性を踏まえながら、審査会において十分な調査審議ができるように具体的な土地利用のあり方について示すとともに、市民にわかりやすく統一感のある優れた図書の作成に努めること。	「(仮称)深谷通信所跡地墓園整備事業」と連携し、本事業の特性を踏まえ、第2章(事業計画の概要)において、具体的な土地利用のあり方について示すとともに、第3章(地域の概況及び地域特性)の記述や第6章(環境影響評価項目に係る調査、予測及び評価の手法の選択)の調査位置を示す図面は、統一を図りました。

配慮市長意見の内容及び都市計画決定権者の見解 方法書p.4-9

■ 配慮指針に掲げられている配慮事項 (1)

	意見の内容	都市計画決定権者の見解
(1) ア	草地を含んだ緑地計画について検討し、方法書以降の図書で示すとともに、事業計画区域内外の生態系に配慮するよう努めること。	緑地計画を検討し、第2章2.5.2環境配慮検討の経緯に記載しました。また、自然環境調査の結果を踏まえ、対象事業実施区域内外の生態系にも配慮するよう努めます。
(1) イ	生物の生息生育環境の保全や景観機能等を考慮し、まとまりや連続性のある緑地、源流域、貴重な動植物の営巣・生育地等の分断、改変を避けるよう検討すること。	自然環境調査の結果を踏まえ、対象事業実施区域周辺の樹林地等に合わせたまとまりや連続性のある緑地、貴重な動植物の営巣及び生育地等の保全を考慮し、分断、改変を避けるように検討するとともに、対象事業実施区域内の新たな緑地等の創出を検討します。

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称)深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

配慮市長意見の内容及び都市計画決定権者の見解		方法書p.4-10
■ 配慮指針に掲げられている配慮事項(2)		
意見の内容		都市計画決定権者の見解
(1)ウ	通過道路となる県道402号(阿久和鎌倉)について、 <u>草地環境の保全や歴史的な背景の視点も踏まえて、将来のあり方を検討すること。</u>	県道402号(阿久和鎌倉)については、 <u>草地環境の保全や「陣街道」「西の道」とも呼ばれた歴史的な背景の視点も踏まえ、将来の在り方について検討した結果、対象事業実施区域から除外し、現状のまま残すこととしました。</u>

配慮市長意見の内容及び都市計画決定権者の見解		方法書p.4-10
■ 配慮指針に掲げられている配慮事項(3)		
意見の内容		都市計画決定権者の見解
(2)ア	<u>工事中における歩行者や暫定利用者等を考慮し、安全対策について検討すること。</u>	工事の実施の際には、 <u>歩行者や利用者等の安全が確保出来るよう、安全な工法等を採用した施工計画を策定します。また、工事区域への仮囲いの設置や誘導員の配置等により、歩行者や利用者等の安全及び円滑な通行・利用の確保に配慮します。</u>
(2)イ	<u>各施設の部分供用が検討されていることから、利用者等の安全や快適な利用環境に配慮した工事計画とし、その上で利用者等への適切な情報提供に努めること。</u>	工区設定の際には、 <u>利用者の安全が確保出来るよう、施行計画において配慮します。また、施工中は対象事業実施区域内では、工事用車両と利用者の分離を図り、安全を確保し、利用者等への適切な情報提供に努めます。</u>

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

配慮市長意見の内容及び都市計画決定権者の見解		方法書p.4-10
■ 配慮指針に掲げられている配慮事項 (4)		
意見の内容	都市計画決定権者の見解	
(3) ア 草地を含んだ緑地計画について検討し、方法書以降の図書で示すとともに、事業計画区域内外の生態系に配慮するよう努めること。 【(1) ア 再掲】	緑地計画を検討し、第2章2.5.2 環境配慮検討の経緯に記載しました。また、 <u>自然環境調査の結果を踏まえ、対象事業実施区域内外の生態系にも配慮するよう努めます。</u>	
(3) イ <u>ビオトープや野鳥観察池等を配置する場合は、生き物と人の距離を確保するように配慮すること。</u>	ビオトープや野鳥観察池等を配置する場合は、 <u>生き物と人の距離を確保するように配慮した計画を検討します。</u>	
(3) ウ <u>建物や駐車場の緑化を検討すること。</u>	生物の生息生育環境の確保等のため、 <u>建物や駐車場の緑化を検討します。</u>	

25

配慮市長意見の内容及び都市計画決定権者の見解		方法書p.4-11
■ 配慮指針に掲げられている配慮事項 (5)		
意見の内容	都市計画決定権者の見解	
(4) <u>災害時における電力を確保するための蓄電池の導入等の防災機能の充実に努めること。</u>	災害時における電力を確保するための蓄電池の導入等の防災機能の充実に努めます。	
(5) <u>積極的にグリーン購入及びグリーン電力導入に努めること。</u>	建設資材や設備等の確保に際して、 <u>積極的にグリーン購入を図るとともに、横浜市グリーン電力調達制度に基づく導入に努めます。</u>	
(6) ア <u>建物や駐車場の緑化を検討すること。【(3) ウ 再掲】</u>	ヒートアイランド現象の抑制のため、 <u>建物や駐車場の緑化を検討します。</u>	

26

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

配慮市長意見の内容及び都市計画決定権者の見解 方法書p.4-11	
配慮指針に掲げられている配慮事項（6）	
意見の内容	都市計画決定権者の見解
(6)イ <u>グリーンインフラ</u> について、具体的な内容を方法書以降の図書で示すこと。	広大な敷地を生かし、 <u>雨水浸透施設、雨水流出抑制施設（雨水調整池）の設置や緑化、駐車場や園路等への透水性舗装の導入等により、地下水の涵養に配慮した計画を検討</u> します。
(7)ア <u>駐車場</u> については、 <u>位置及び規模</u> を方法書以降の図書で示すこと。	交通集中を回避するため、かつ利用者の利便性を配慮し、広域的な利用を想定しつつ、 <u>適切な規模の駐車場を分散して整備</u> します。 イベント開催時等のピーク時にも対応できる規模とします。 詳細な位置及び規模は準備書で示します。

27

配慮市長意見の内容及び都市計画決定権者の見解 方法書p.4-11~4-12	
配慮指針に掲げられている配慮事項（7）	
意見の内容	都市計画決定権者の見解
(7)イ <u>利用者に対する公共交通機関の利用促進</u> を図ること。	公共交通機関の利用促進のため、今後利用者に対し、 <u>ホームページでの周知等</u> を検討します。
(8) <u>埋蔵文化財の調査</u> を適切に行い、 <u>新たな文化財が発見された場合には適切な対応</u> を行うこと。	埋蔵文化財について、 <u>工事前の調査</u> の中で、 <u>新たな文化財が発見された場合、「文化財保護法」に基づき、適切に対応</u> します。
(9)ア <u>水路の扱い</u> について検討するとともに、 <u>地下水涵養機能に配慮</u> すること。	現在の河川（水路）は埋め立てる計画ですが、同じ場所に有孔管で暗渠排水を設ける等、 <u>地下水の水位変動ができる限り少なくなる対策</u> を検討します。なお、河川（水路）は埋め立てる前に切り回される計画とされています。 <u>地下水涵養機能に配慮し、事業計画</u> を検討します。

28

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

配慮市長意見の内容及び都市計画決定権者の見解 方法書p.4-12	
配慮指針に掲げられている配慮事項（8）	
意見の内容	都市計画決定権者の見解
(9) イ グリーンインフラについて、具体的な内容を方法書以降の図書で示すこと。 【(6) イ 再掲】	広大な敷地を生かし、雨水浸透施設、雨水流出抑制施設（雨水調整池）の設置や緑化、駐車場や園路等への透水性舗装の導入等により、地下水の涵養に配慮した計画を検討します。
(10) 工作物の施工、改修に当たっては、長寿命な材料、材質を選択し、点検しやすい構造にする等、 <u>工作物の長寿命化に努めること。</u>	対象事業実施区域内の施設の施工、改修に当たっては、 <u>長寿命化に努めます。</u>

配慮市長意見の内容及び都市計画決定権者の見解 方法書p.4-13	
事業特性及び地域特性を踏まえ追加した配慮事項（1）	
意見の内容	都市計画決定権者の見解
(1) 土壌汚染について、関係機関等と協議を行い、適切に対応するとともに、具体的な対策について方法書以降の図書で示すこと。	対象事業実施区域は「土壌汚染対策法」に基づく形質変更時要届出区域に指定されているため、関係機関等と協議を行い、「土壌汚染対策法」に基づき、適切に対応します。具体的な対策について準備書で示します。

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

配慮市長意見の内容及び都市計画決定権者の見解 方法書p.4-13	
事業特性及び地域特性を踏まえ追加した配慮事項 (2)	
意見の内容	都市計画決定権者の見解
(2) 事業計画区域内に最終処分場跡地があるため、関係機関と協議を行い、特に環境へ影響を及ぼさないように対応するとともに、具体的な対策について方法書以降の図書で示すこと。	本市では、市内の廃棄物の最終処分場跡地における土地利用について、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「最終処分場跡地形質変更に係る施行ガイドライン」に準拠した「横浜市最終処分場跡地利用に係る指導要綱」に基づき、土地の形質の変更について指導が行われます。本事業では、 <u>産業廃棄物最終処分場跡地を公園として利用することから、必要な評価項目を選定し、調査、予測及び評価を行うとともに、実施に当たっては、関係法令に基づき、適切に対応します。具体的な対策について準備書で示します。</u>

31

4 環境影響要因の抽出及び環境影響評価項目の選定

32

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称)深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

環境影響要因の抽出			方法書p.5-1
区分	環境影響要因	抽出の理由	
工事中	建設行為等	<ul style="list-style-type: none"> ・造成工事や建物の建築等の工事を実施します。 ・本事業と並行して土壌汚染対策工事及び既存の工作物の解体工事を実施します。 	
	建設機械の稼働	<ul style="list-style-type: none"> ・造成工事や建物の建築等のために、建設機械が対象事業実施区域で稼働します。 	
	工事用車両の走行	<ul style="list-style-type: none"> ・資機材の運搬や、廃棄物等の搬出を行う車両が走行します。 	
供用時	施設の存在	施設の存在・土地利用の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・対象事業実施区域に公園施設が出現し、土地利用が変化します。
	施設の供用	施設の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・公園施設管理、運営作業が行われます。 ・利用者及び施設管理関係者が施設を利用します。
		来園車両等の走行	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者による来園車両及び管理用車両が走行します。

環境影響要因と環境影響評価項目の関連表				方法書p.5-2～5-8
工事中		環境影響要因		
環境影響評価項目	細目	建設行為等	建設機械の稼働	工事用車両の走行
		温室効果ガス		
生物多様性	動物	○		
	植物	○		
	生態系	○		
水循環	地下水位及び湧水の流量/河川の形態、流量	○		
廃棄物・建設発生土	産業廃棄物/建設発生土	○		
大気質	大気汚染		○	○
水質・底質	公共用水域の水質/公共用水域の底質/地下水の水質	○		
土壌	土壌汚染	○		
騒音			○	○
振動			○	○
地盤	地盤沈下	○		
悪臭		○		
安全	火災・爆発/有害物漏洩	○		
地域社会	交通混雑/歩行者の安全			○
触れ合い活動の場				○

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

環境影響要因と環境影響評価項目の関連表 方法書p.5-2~5-8				
供用時		環境影響要因		
環境影響評価項目	細目	施設の存在	施設の供用	
		施設の存在・土地利用の変化	施設の運営	来園車両等の走行
生物多様性	動物	○		
	植物	○		
	生態系	○		
水循環	地下水水位及び湧水の流量／河川の形態、流量	○		
廃棄物・建設発生土	一般廃棄物／産業廃棄物		○	
大気質	大気汚染			○
水質・底質	公共用水域の水質／地下水の水質	○		
騒音				○
振動				○
地盤	地盤沈下	○		
悪臭		○		
安全	火災・爆発／有害物漏洩	○		
地域社会	交通混雑／歩行者の安全			○
景観		○		
触れ合い活動の場		○		○

35

5 調査、予測及び評価の手法

36

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

温室効果ガス		方法書p.6-1
調査手法		
調査項目※	調査方法	
温室効果ガスに係る原単位の把握	資料	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」等により、 <u>予測式及び原単位を整理</u>
排出抑制対策の実施状況	資料	横浜市で取り組んでいる地球温暖化対策等を整理
※主な調査項目を記載		
予測手法 (工事中)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
建設機械の稼働に伴う温室効果ガスの排出量	【地域・地点】 対象事業実施区域及びその周辺	建設機械の種類、台数等を整理の上、「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」等に基づき、 <u>温室効果ガスの排出量を予測</u>
工事用車両の走行に伴う温室効果ガスの排出量	【時期】 工事期間全体	工事用車両の種類、台数等を整理の上、「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」等に基づき、 <u>温室効果ガスの排出量を予測</u>

37

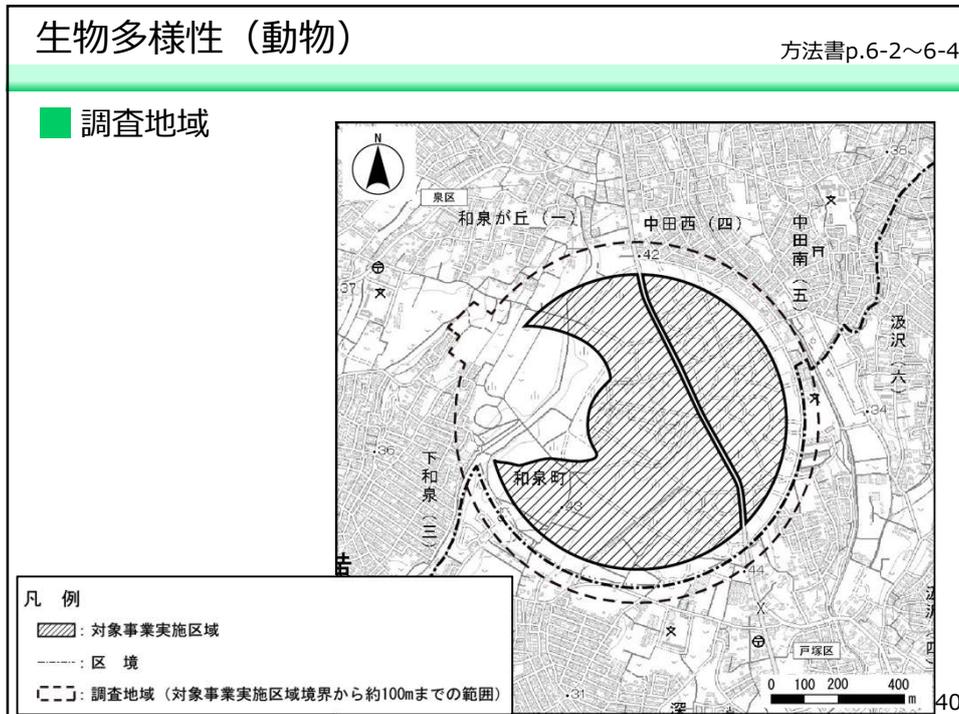
生物多様性 (動物)		方法書p.6-2~6-4
調査手法		
調査項目※	調査方法	
動物の状況 ・動物相 ・生息環境の特性 ・注目すべき動物種及び生息地の状況 ・動物の生息環境から見た地域環境特性	資料 現地	既存資料の収集整理及び現地踏査により調査
	現地	陸生動物 ・動物相調査 a.哺乳類 任意観察法、フィールドサイン法及びトラップ法により調査 ・4季(春季、初夏、秋季、冬季) b.鳥類 ラインセンサス法、定点観察法及び直接観察法により調査 ・4季(春季、初夏、秋季、冬季) c.両生類及び爬虫類 直接観察法及び採取により調査 ・3季(春季、初夏、秋季)
※主な調査項目を記載		

38

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称)深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

生物多様性 (動物)		方法書p.6-2~6-4
調査手法		
調査項目※	調査方法	
動物の状況 ・動物相 ・生息環境の特性 ・注目すべき動物種及び生息地の状況 ・動物の生息環境からみた地域環境特性	現地	d.昆虫類 直接観察法及び採取、バイトトラップ法及びライトトラップ法により調査 ・3季(春季、初夏季、冬季) 水生生物 ・生物相調査 直接観察法及び採取により調査 ・3季(春季、初夏季、冬季)
※主な調査項目を記載		



◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

生物多様性 (動物)		
方法書p.6-2~6-4		
■ 予測手法 (工事中)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
建設行為等に伴う陸生動物の動物相、水生生物の生物相の変化の内容及びその程度	【地域・地点】 現地調査の範囲と同一の地域 【時期】 工事期間全体	調査で把握した陸生動物の動物相、水生生物の生物相の状況及び生息環境と施工計画を比較することで、影響の程度を定性的に予測
■ 予測手法 (供用時)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
施設の存在・土地利用の変化に伴う陸生動物の動物相、水生生物の生物相の変化の内容及びその程度	【地域・地点】 現地調査の範囲と同一の地域 【時期】 対象事業に係る工事の完了後、動物の生育環境が安定するまでの期間	調査で把握した陸生動物の動物相、水生生物の生物相の状況及び生息環境と事業計画を比較することで、影響の程度を定性的に予測

41

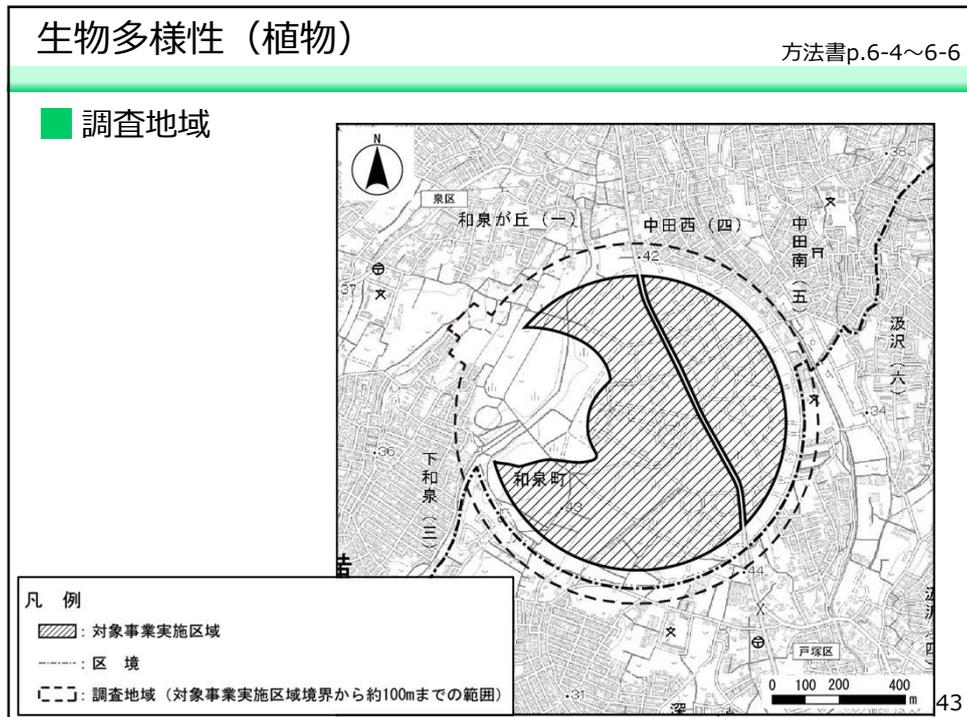
生物多様性 (植物)		
方法書p.6-4~6-6		
■ 調査手法		
調査項目※	調査方法	
植物の状況 ・植物相 ・生育環境の特性 ・注目すべき植物種及び植物群落の状況	資料 現地	既存資料の収集整理及び現地踏査により調査
	現地	陸生植物、水生植物 a.植物相調査 直接観察法及び採取 ・4季(早春季、春季、初夏季、秋季) b.植生調査 コドラート法により調査 ・2季(初夏季、秋季)

※主な調査項目を記載

42

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称)深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。



生物多様性 (植物)

方法書p.6-4~6-6

■ 予測手法 (工事中)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
建設行為等に伴う陸生植物の植物相、水生植物の植物相の変化の内容及びその程度	【地域・地点】 現地調査の範囲と同一の地域 【時期】 工事期間全体	調査で把握した陸生植物の植物相、水生植物の植物相及び植生の状況と施工計画を比較することで、影響の程度を定性的に予測

■ 予測手法 (供用時)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
施設の存在・土地利用の変化に伴う陸生植物の植物相、水生植物の植物相の変化の内容及びその程度	【地域・地点】 現地調査の範囲と同一の地域 【時期】 対象事業に係る工事完了後、植物の生育環境が安定するまでの期間	調査で把握した陸生植物の植物相、水生植物の植物相及び植生の状況と事業計画を比較することで、影響の程度を定性的に予測

44

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

生物多様性 (生態系)		方法書p.6-7
調査手法		
調査項目*	調査方法	
生態系の状況 ・生態系を構成する要素の状況 ・食物連鎖の状況	資料 現地	既存資料の収集整理及び必要に応じ現地踏査により調査
※主な調査項目を記載		

45

生物多様性 (生態系)		方法書p.6-7
工事中		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
建設行為等に伴う生態系の状況の変化の内容及びその程度	【地域・地点】 対象事業実施区域及びその周辺 【時期】 工事期間全体	調査で把握した生態系の状況と <u>施工計画</u> を比較することで、 <u>影響の程度</u> を定性的に予測
供用時		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
施設の存在・土地利用の変化に伴う生態系の状況の変化の内容及びその程度	【地域・地点】 対象事業実施区域及びその周辺 【時期】 対象事業に係る工事の完了後、一定期間をおいた時期	調査で把握した生態系の状況と <u>事業計画</u> を比較することで、 <u>影響の程度</u> を定性的に予測

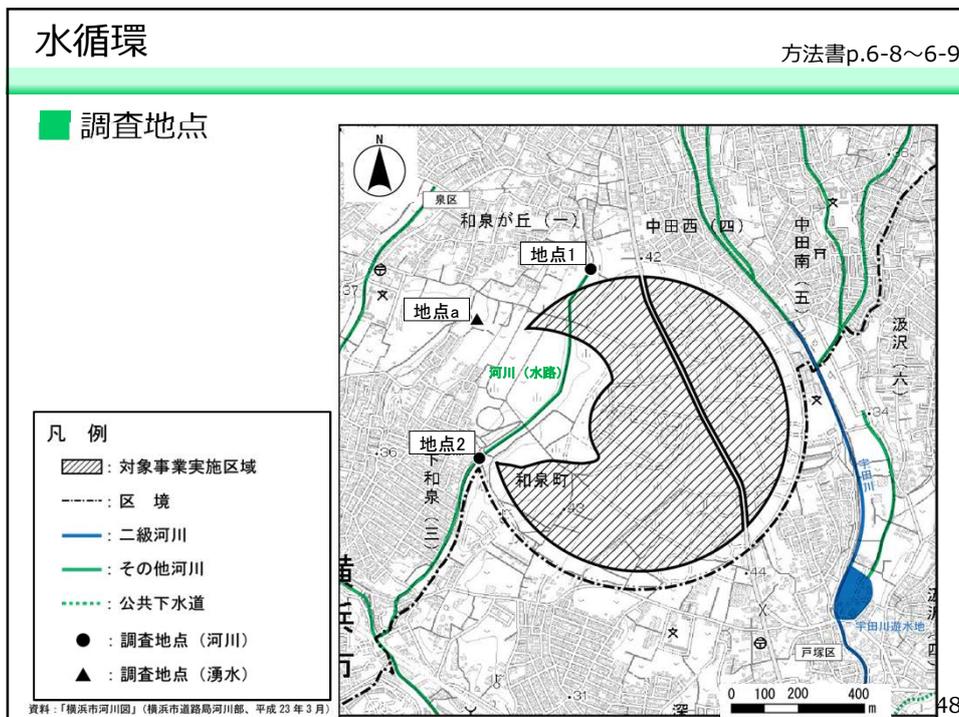
46

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

水循環		方法書p.6-8~6-9
調査手法		
調査項目※	調査方法	
河川の状況 ・河川の形態及び流量 ・洪水及び浸水の履歴	資料	既存資料の収集整理及び必要に応じ現地踏査により調査
	現地	「水質調査方法」に定める方法に準拠し、河川の流量を現地調査により把握 ・2季(夏季、冬季)
地下水の状況 ・湧水の分布及び流量	現地	電磁流量計を用いた測定方法等により、湧水量、気温、pH(水素イオン濃度)、臭気、外観、水温、透視度、電気伝導度を調査 ・12回(月ごと)

※主な調査項目を記載



◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

水循環		
		方法書p.6-8~6-9
■ 予測手法 (工事中)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
建設行為等に伴い変化する河川の流量、湧水の流量	【地域・地点】 現地調査の範囲と同一の地点 【時期】 工事に起因する影響が最大となる時期	施工計画の内容を勘案し、建設行為等に伴う河川及び湧水の流量への影響について定性的に予測
■ 予測手法 (供用時)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
施設の存在・土地利用の変化に伴い変化する河川の流量、湧水の流量	【地域・地点】 現地調査の範囲と同一の地点 【時期】 対象事業が供用を開始し、事業活動が定常の状態になる時期	事業計画の内容を勘案し、施設の存在・土地利用の変化に伴う河川及び湧水の流量への影響について定性的に予測

49

廃棄物・建設発生土		
		方法書p.6-10~6-11
■ 調査手法		
調査項目※	調査方法	
廃棄物及び建設発生土の処理処分の状況 ・種類別発生量 ・資源化の状況 ・廃棄物の処理状況	資料	既存資料の収集整理により把握
※主な調査項目を記載		

50

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

廃棄物・建設発生土		
		方法書p.6-10～6-11
■ 予測手法 (工事中)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
建設行為等により発生する産業廃棄物、建設発生土	【地域・地点】 対象事業実施区域 【時期】 工事期間全体	施工計画を基に発生量を推定するとともに、本事業で実行可能な再利用等の方法や、処理方法等を整理し、種類ごとに発生量と最終処分量を予測
■ 予測手法 (供用時)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
施設の運営により発生する一般廃棄物、産業廃棄物	【地域・地点】 対象事業実施区域 【時期】 対象事業が供用され、事業活動が定常の状態になる時期	事業計画を基に発生量を推定するとともに、本事業で実行可能な再利用等の方法や、処理方法等を整理し、種類ごとに発生量と最終処分量を予測

51

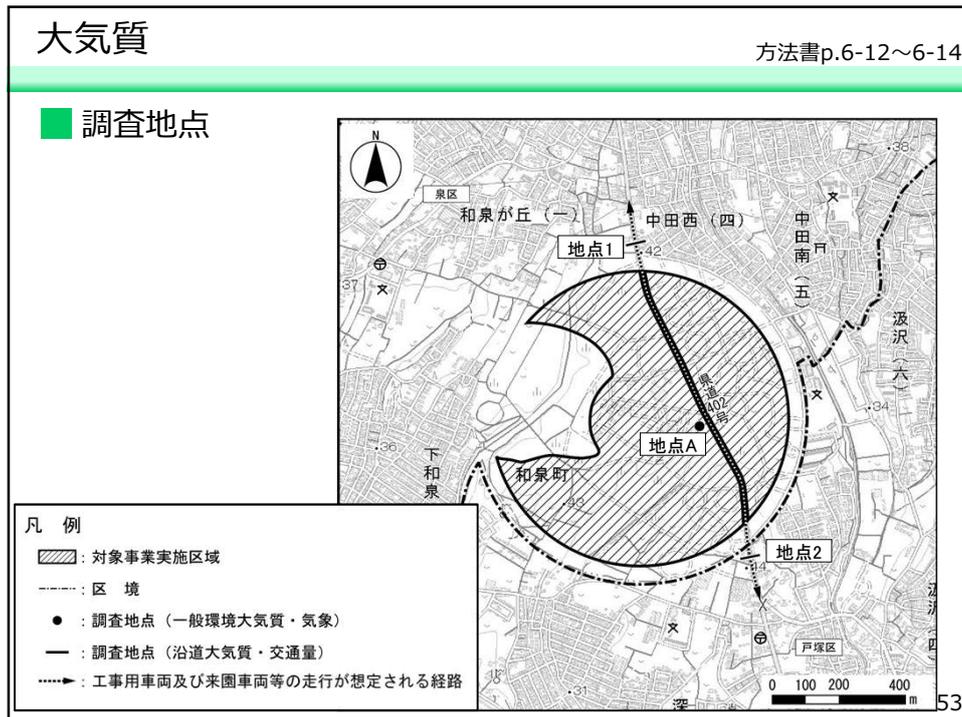
大気質		
		方法書p.6-12～6-14
■ 調査手法		
調査項目※	調査方法	
大気の状態 ・窒素酸化物 ・浮遊粒子状物質	資料	過去5年間の二酸化窒素、浮遊粒子状物質濃度等の状況を調査
	現地	「二酸化窒素に係る環境基準について」等に定める方法により測定 ・7日間×24時間×2季(夏季、冬季) 沿道環境大気調査として、二酸化窒素の状況を簡易測定法(PTIO法)により測定 ・7日間×24時間×2季(夏季、冬季)
気象の状態 ・風向・風速 ・日射量 ・放射収支量	資料	常時観測測定局の観測データを収集整理
	現地	風向・風速の状況を「地上気象観測指針」に定める方法により測定 ・7日間×24時間×2季(夏季、冬季)
大気汚染物質の主要な発生源の状況	資料	既存資料の収集整理により調査
	現地	自動車断面交通量を測定 ・平日(24時間)×1回 ・休日(24時間)×1回

※主な調査項目を記載

52

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。



大気質

方法書p.6-12~6-14

予測手法 (工事中)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
建設機械の稼働に伴う二酸化窒素、浮遊粒子状物質	【地域・地点】 最大着地濃度の出現する地点を含む範囲 【時期】 建設機械の稼働の影響が最大となる時期	「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている大気拡散式(ブルーム・パフ式)により年平均値及び1時間値を予測
工事用車両の走行に伴う二酸化窒素、浮遊粒子状物質	【地域・地点】 工事用車両の走行ルート沿道として想定される道路沿道の2地点 【時期】 工事用車両の走行の影響が最大となる時期	「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている大気拡散式(ブルーム・パフ式)により年平均値を予測
解体工事の実施に伴うアスベスト	【地域・地点】 対象事業実施区域 【時期】 既存建物解体時	本事業の飛散性アスベスト等に対する処理方針等を整理し、 <u>定性的に予測</u>

54

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

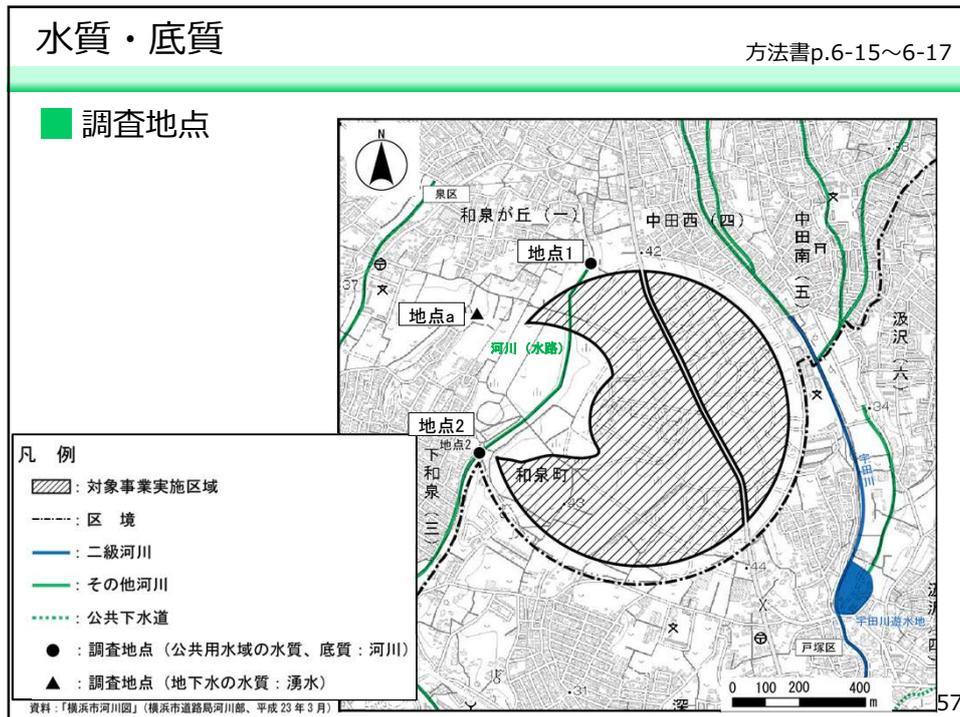
◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

大気質		方法書p.6-12~6-14						
<p>■ 予測手法 (供用時)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測項目</th> <th>予測地域・地点・時期</th> <th>予測方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来園車両等の走行に伴う二酸化窒素、浮遊粒子状物質</td> <td> <p>【地域・地点】 来園車両等の走行ルート沿道として想定される道路沿道の2地点</p> <p>【時期】 対象となる事業が供用を開始し、事業活動が定常の状態になる時期</p> </td> <td>「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている大気拡散式(ブルーム・パフ式)により年平均値を予測</td> </tr> </tbody> </table>			予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法	来園車両等の走行に伴う二酸化窒素、浮遊粒子状物質	<p>【地域・地点】 来園車両等の走行ルート沿道として想定される道路沿道の2地点</p> <p>【時期】 対象となる事業が供用を開始し、事業活動が定常の状態になる時期</p>	「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている大気拡散式(ブルーム・パフ式)により年平均値を予測
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法						
来園車両等の走行に伴う二酸化窒素、浮遊粒子状物質	<p>【地域・地点】 来園車両等の走行ルート沿道として想定される道路沿道の2地点</p> <p>【時期】 対象となる事業が供用を開始し、事業活動が定常の状態になる時期</p>	「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている大気拡散式(ブルーム・パフ式)により年平均値を予測						
		55						

水質・底質		方法書p.6-15~6-17												
<p>■ 調査手法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査項目*</th> <th colspan="2">調査方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共用水域の水質の状況 ・河川の水質の状況</td> <td>現地</td> <td> <p>日本工業規格等に定める方法に準拠し、BOD(生物化学的酸素要求量)、T-P(全磷)、T-N(全窒素)、糞便性大腸菌群数、SS(浮遊性物質)、DO(溶存酸素量)及び油分を現地調査により把握 ・2季(夏季、冬季)</p> <p>「最終処分場跡地形質変更に係る施行ガイドライン」に示された調査方法に基づき調査</p> </td> </tr> <tr> <td>公共用水域の底質の状況 ・河川の底質の状況</td> <td>現地</td> <td> <p>底質の暫定除去規準に基づく方法に準拠し、水銀、PCB(ポリ塩化ビフェニル)を現地調査により把握 ・2季(夏季、冬季)</p> </td> </tr> <tr> <td>地下水の水質の状況 ・湧水の水質の状況</td> <td>現地</td> <td> <p>日本工業規格等に定める方法に準拠し、健康項目28項目(カドミウム、全シアン等)を現地調査により把握 ・2季(夏季、冬季)</p> </td> </tr> </tbody> </table>			調査項目*	調査方法		公共用水域の水質の状況 ・河川の水質の状況	現地	<p>日本工業規格等に定める方法に準拠し、BOD(生物化学的酸素要求量)、T-P(全磷)、T-N(全窒素)、糞便性大腸菌群数、SS(浮遊性物質)、DO(溶存酸素量)及び油分を現地調査により把握 ・2季(夏季、冬季)</p> <p>「最終処分場跡地形質変更に係る施行ガイドライン」に示された調査方法に基づき調査</p>	公共用水域の底質の状況 ・河川の底質の状況	現地	<p>底質の暫定除去規準に基づく方法に準拠し、水銀、PCB(ポリ塩化ビフェニル)を現地調査により把握 ・2季(夏季、冬季)</p>	地下水の水質の状況 ・湧水の水質の状況	現地	<p>日本工業規格等に定める方法に準拠し、健康項目28項目(カドミウム、全シアン等)を現地調査により把握 ・2季(夏季、冬季)</p>
調査項目*	調査方法													
公共用水域の水質の状況 ・河川の水質の状況	現地	<p>日本工業規格等に定める方法に準拠し、BOD(生物化学的酸素要求量)、T-P(全磷)、T-N(全窒素)、糞便性大腸菌群数、SS(浮遊性物質)、DO(溶存酸素量)及び油分を現地調査により把握 ・2季(夏季、冬季)</p> <p>「最終処分場跡地形質変更に係る施行ガイドライン」に示された調査方法に基づき調査</p>												
公共用水域の底質の状況 ・河川の底質の状況	現地	<p>底質の暫定除去規準に基づく方法に準拠し、水銀、PCB(ポリ塩化ビフェニル)を現地調査により把握 ・2季(夏季、冬季)</p>												
地下水の水質の状況 ・湧水の水質の状況	現地	<p>日本工業規格等に定める方法に準拠し、健康項目28項目(カドミウム、全シアン等)を現地調査により把握 ・2季(夏季、冬季)</p>												
※主な調査項目を記載		56												

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称)深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。



水質・底質

方法書p.6-15~6-17

予測手法 (工事中)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
建設行為等に伴い変化する河川の水質及び底質、湧水の水質	【地域・地点】 現地調査の範囲と同一の地点 【時期】 工事に起因する影響が最大となる時期	施工計画の内容を勘案し、建設行為等に伴う河川の水質及び底質、湧水の水質への影響について定性的に予測

予測手法 (供用時)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
施設の存在・土地利用の変化に伴い変化する河川の水質、湧水の水質	【地域・地点】 現地調査の範囲と同一の地点 【時期】 対象事業が供用を開始し、事業活動が定常の状態になる時期	事業計画の内容を勘案し、施設の存在・土地利用の変化に伴う河川の水質、湧水の水質への影響について定性的に予測

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

土壌		方法書p.6-18
調査手法		
調査項目※	調査方法	
地歴の状況	資料	「土壌汚染対策法」に基づく土壌汚染調査結果等の既存資料の収集整理により調査
土壌汚染の状況		
土壌汚染の主要な発生源の状況		
※主な調査項目を記載		
予測手法 (工事中)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
建設行為等に伴う土壌汚染物質	【地域・地点】 対象事業実施区域及びその周辺 【時期】 工事期間全体	調査で把握した土壌汚染物質の状況と施工計画を比較することで、影響の程度を定性的に予測

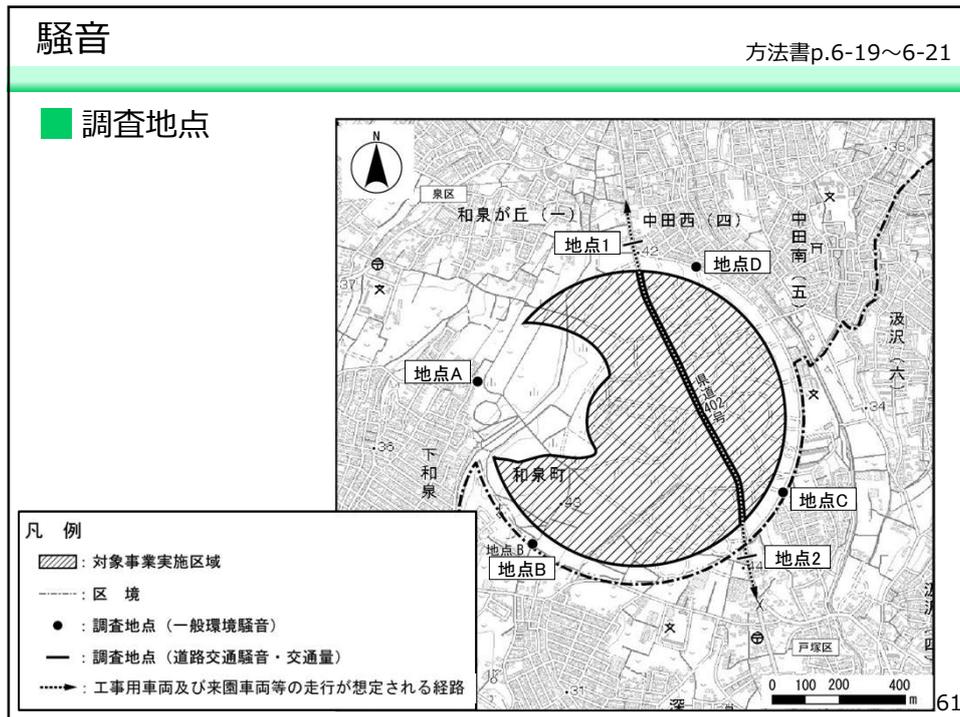
59

騒音		方法書p.6-19~6-21
調査手法		
調査項目※	調査方法	
騒音の状況 ・一般環境騒音	現地	「騒音に係る環境基準について」に定める方法により調査 ・平日(昼間6時~22時) × 1回
騒音の状況 ・道路交通騒音	現地	「騒音に係る環境基準について」に定める方法により調査 ・平日(昼間6時~22時) × 1回 ・休日(昼間6時~22時) × 1回
騒音の主要発生源の状況 ・主要発生源の状況 ・自動車交通量の状況	資料 現地	既存資料の収集整理及び必要に応じ現地踏査により調査
	現地	自動車断面交通量を測定 ・平日(昼間6時~22時) × 1回 ・休日(昼間6時~22時) × 1回
※主な調査項目を記載		

60

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称)深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。



騒音 方法書p.6-19~6-21

■ 予測手法 (工事中)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
建設機械の稼働に伴う騒音	【地域・地点】 対象事業実施区域から約50~150mの範囲 【時期】 建設機械の稼働の影響が最大となる時期	「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている「ASJ CN-Model」により予測
工事用車両の走行に伴う道路交通騒音	【地域・地点】 工事用車両及び来園車両等の走行が想定される経路のうち、住宅等の近傍の道路沿道2地点 【時期】 工事用車両の走行の影響が最大となる時期	「道路交通騒音の予測計算モデル(ASJ RTN-Model)」を用い、既存道路の現況の騒音レベルに工事用車両及び来園車両等の影響を加味することで予測

62

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

騒音		方法書p.6-19~6-21
■ 予測手法 (供用時)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
来園車両等の走行に伴う道路交通騒音	【地域・地点】 工事用車両及び来園車両等の走行が想定される経路のうち、住宅等の近傍の道路沿道2地点 【時期】 対象となる事業が供用を開始し、事業活動が定常の状態になる時期	「道路交通騒音の予測計算モデル(ASJ RTN-Model)」を用い、既存道路の現況の騒音レベルに工事用車両及び来園車両等の影響を加味することで予測

63

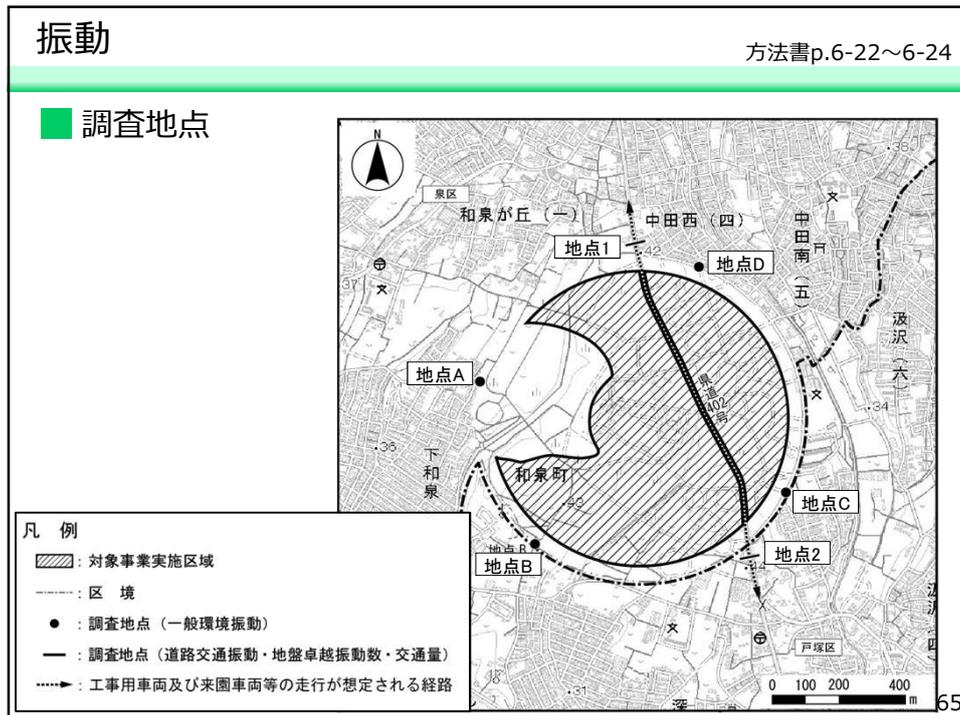
振動		方法書p.6-22~6-24
■ 調査手法		
調査項目※	調査方法	
振動の状況 ・一般環境振動	現地	「振動レベルの測定法」(JIS Z8735)に定める方法により調査 ・平日(昼間8時~19時)×1回
振動の状況 ・道路交通振動	現地	「振動規制法施行規則」(昭和51年総理府令第58号)に定める方法により道路交通振動を調査 ・平日(昼間8時~19時)×1回 ・休日(昼間8時~19時)×1回
振動の主要な発生源の状況 ・主要発生源の状況 ・自動車交通量の状況	資料 現地	既存資料の収集整理及び必要に応じ現地踏査により調査
	現地	自動車断面交通量を測定 ・平日(昼間8時~19時)×1回 ・休日(昼間8時~19時)×1回

※主な調査項目を記載

64

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。



方法書p.6-22~6-24

振動

予測手法 (工事中)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
建設機械の稼働に伴う振動	【地域・地点】 対象事業実施区域から約50~150mの範囲 【時期】 建設機械の稼働の影響が最大となる時期	「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている予測式により予測
工事用車両の走行に伴う道路交通振動	【地域・地点】 工事用車両及び来園車両等の走行が想定される経路のうち、住宅等の近傍の道路沿道2地点 【時期】 工事用車両の走行の影響が最大となる時期	「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている予測式を用い、既存道路の現況の振動レベルに工事用車両及び来園車両等の影響を加味することで予測

66

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称)深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

振動		方法書p.6-22~6-24						
<p>■ 予測手法 (供用時)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測項目</th> <th>予測地域・地点・時期</th> <th>予測方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来園車両等の走行に伴う道路交通振動</td> <td> <p>【地域・地点】 工事用車両及び来園車両等の走行が想定される経路のうち、住宅等の近傍の道路沿道2地点</p> <p>【時期】 対象となる事業が供用を開始し、事業活動が定常の状態になる時期</p> </td> <td> <p>「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている予測式を用い、既存道路の現況の振動レベルに工事用車両及び来園車両等の影響を加味することで予測</p> </td> </tr> </tbody> </table>			予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法	来園車両等の走行に伴う道路交通振動	<p>【地域・地点】 工事用車両及び来園車両等の走行が想定される経路のうち、住宅等の近傍の道路沿道2地点</p> <p>【時期】 対象となる事業が供用を開始し、事業活動が定常の状態になる時期</p>	<p>「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている予測式を用い、既存道路の現況の振動レベルに工事用車両及び来園車両等の影響を加味することで予測</p>
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法						
来園車両等の走行に伴う道路交通振動	<p>【地域・地点】 工事用車両及び来園車両等の走行が想定される経路のうち、住宅等の近傍の道路沿道2地点</p> <p>【時期】 対象となる事業が供用を開始し、事業活動が定常の状態になる時期</p>	<p>「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」に示されている予測式を用い、既存道路の現況の振動レベルに工事用車両及び来園車両等の影響を加味することで予測</p>						
		67						

地盤		方法書p.6-25											
<p>■ 調査手法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査項目※</th> <th colspan="2">調査方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地盤変状の状況</td> <td>資料</td> <td>既存資料の収集整理により把握</td> </tr> <tr> <td>現地</td> <td>「最終処分場跡地形質変更に係る施行ガイドライン」に示された調査方法に基づき調査</td> </tr> <tr> <td>地質及び地下水の状況</td> <td>資料</td> <td>既存資料の収集整理により把握</td> </tr> </tbody> </table>			調査項目※	調査方法		地盤変状の状況	資料	既存資料の収集整理により把握	現地	「最終処分場跡地形質変更に係る施行ガイドライン」に示された調査方法に基づき調査	地質及び地下水の状況	資料	既存資料の収集整理により把握
調査項目※	調査方法												
地盤変状の状況	資料	既存資料の収集整理により把握											
	現地	「最終処分場跡地形質変更に係る施行ガイドライン」に示された調査方法に基づき調査											
地質及び地下水の状況	資料	既存資料の収集整理により把握											
※主な調査項目を記載													
		68											

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

地盤		方法書p.6-25
■ 予測手法 (工事中)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
工事の実施に伴う地盤の変化	【地域・地点】 対象事業実施区域のうち産業廃棄物最終処分場跡地の上部 【時期】 工事期間全体	調査で把握した地質及び地下水の状況と施工計画を比較することで、 <u>影響の程度</u> を定性的に予測
■ 予測手法 (供用時)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
施設の存在・土地利用の変化に伴う地盤の変化	【地域・地点】 対象事業実施区域のうち産業廃棄物最終処分場跡地の上部 【時期】 対象事業が供用を開始し、事業活動が定常の状態になる時期	調査で把握した地質及び地下水の状況と事業計画を比較することで、 <u>影響の程度</u> を定性的に予測

69

悪臭		方法書p.6-26
■ 調査手法		
調査項目※	調査方法	
悪臭の状況	現地	「最終処分場跡地形質変更に係る施行ガイドライン」に示された調査方法に基づき調査
悪臭物質の主要な発生源の状況		
※主な調査項目を記載		

70

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

悪臭								
方法書p.6-26								
<p>■ 予測手法 (工事中)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測項目</th> <th>予測地域・地点・時期</th> <th>予測方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定悪臭物質の濃度及び臭気指数で表示される臭気の種類から必要な項目を選択</td> <td> <p>【地域・地点】 対象事業実施区域のうち産業廃棄物最終処分場跡地の上部</p> <p>【時期】 工事に起因する影響が最大となる時期</p> </td> <td>調査で把握した悪臭の状況と<u>施工計画</u>を比較することで、<u>影響の程度を定性的に予測</u></td> </tr> </tbody> </table>			予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法	特定悪臭物質の濃度及び臭気指数で表示される臭気の種類から必要な項目を選択	<p>【地域・地点】 対象事業実施区域のうち産業廃棄物最終処分場跡地の上部</p> <p>【時期】 工事に起因する影響が最大となる時期</p>	調査で把握した悪臭の状況と <u>施工計画</u> を比較することで、 <u>影響の程度を定性的に予測</u>
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法						
特定悪臭物質の濃度及び臭気指数で表示される臭気の種類から必要な項目を選択	<p>【地域・地点】 対象事業実施区域のうち産業廃棄物最終処分場跡地の上部</p> <p>【時期】 工事に起因する影響が最大となる時期</p>	調査で把握した悪臭の状況と <u>施工計画</u> を比較することで、 <u>影響の程度を定性的に予測</u>						
<p>■ 予測手法 (供用時)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測項目</th> <th>予測地域・地点・時期</th> <th>予測方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定悪臭物質の濃度及び臭気指数で表示される臭気の種類から必要な項目を選択</td> <td> <p>【地域・地点】 対象事業実施区域のうち産業廃棄物最終処分場跡地の上部</p> <p>【時期】 対象事業が供用を開始し、事業活動が定常の状態になる時期</p> </td> <td>調査で把握した悪臭の状況と<u>事業計画</u>を比較することで、<u>影響の程度を定性的に予測</u></td> </tr> </tbody> </table>			予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法	特定悪臭物質の濃度及び臭気指数で表示される臭気の種類から必要な項目を選択	<p>【地域・地点】 対象事業実施区域のうち産業廃棄物最終処分場跡地の上部</p> <p>【時期】 対象事業が供用を開始し、事業活動が定常の状態になる時期</p>	調査で把握した悪臭の状況と <u>事業計画</u> を比較することで、 <u>影響の程度を定性的に予測</u>
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法						
特定悪臭物質の濃度及び臭気指数で表示される臭気の種類から必要な項目を選択	<p>【地域・地点】 対象事業実施区域のうち産業廃棄物最終処分場跡地の上部</p> <p>【時期】 対象事業が供用を開始し、事業活動が定常の状態になる時期</p>	調査で把握した悪臭の状況と <u>事業計画</u> を比較することで、 <u>影響の程度を定性的に予測</u>						

71

安全											
方法書p.6-27											
<p>■ 調査手法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査項目※</th> <th colspan="2">調査方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火災・爆発、有害物漏洩の状況</td> <td>現地</td> <td>「最終処分場跡地形質変更に係る施行ガイドライン」に示された調査方法に基づき調査</td> </tr> <tr> <td>過去の被災の状況</td> <td>資料</td> <td>既存資料の収集整理により把握</td> </tr> </tbody> </table> <p>※主な調査項目を記載</p>			調査項目※	調査方法		火災・爆発、有害物漏洩の状況	現地	「最終処分場跡地形質変更に係る施行ガイドライン」に示された調査方法に基づき調査	過去の被災の状況	資料	既存資料の収集整理により把握
調査項目※	調査方法										
火災・爆発、有害物漏洩の状況	現地	「最終処分場跡地形質変更に係る施行ガイドライン」に示された調査方法に基づき調査									
過去の被災の状況	資料	既存資料の収集整理により把握									

72

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称)深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

安全		
方法書p.6-27		
■ 予測手法 (工事中)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
工事の実施に伴う火災・爆発、有害物漏洩に係る安全性の確保の程度	【地域・地点】 対象事業実施区域のうち産業廃棄物最終処分場跡地の上部 【時期】 工事期間全体	調査で把握した火災・爆発、有害物漏洩の状況と <u>施工計画</u> を比較することで、 <u>影響の程度を定性的に予測</u>
■ 予測手法 (供用時)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
施設の使用に伴う火災・爆発、有害物漏洩に係る安全性の確保の程度	【地域・地点】 対象事業実施区域のうち産業廃棄物最終処分場跡地の上部 【時期】 対象事業が供用を開始し、事業活動が定常の状態になる時期	調査で把握した火災・爆発、有害物漏洩の状況と <u>事業計画</u> を比較することで、 <u>影響の程度を定性的に予測</u>

73

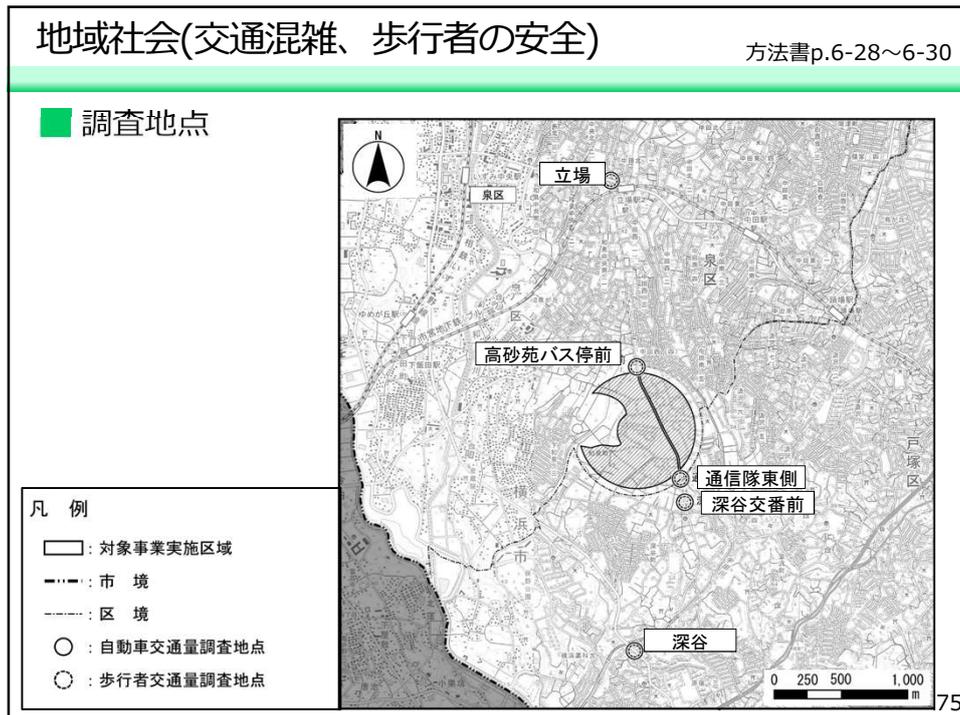
地域社会(交通混雑、歩行者の安全)		
方法書p.6-28~6-30		
■ 調査手法		
調査項目*	調査方法	
日常生活圏等の状況 ・公共施設等の位置 ・学区、通学路の状況 ・避難場所等の状況	資料	既存資料の収集整理等により調査
地域交通の状況 ・主要な交通経路及び交通量の状況 ・主要交差点部における交通処理	資料	既存資料の収集整理等により調査
	現地	時間別に車種別・方向別自動車交通量、渋滞の状況及び信号現示を測定 ・平日(24時間)×1回 ・休日(24時間)×1回 ・混雑時(24時間)×1回 時間別に方向別歩行者・自転車交通量を測定 ・平日(24時間)×1回 ・休日(24時間)×1回
交通安全の状況 ・交通安全対策の状況 ・交通事故の状況	資料 現地	既存資料の収集整理及び現地踏査により調査

※主な調査項目を記載

74

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。



地域社会(交通混雑、歩行者の安全)

方法書p.6-28~6-30

予測手法 (工事中)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
工事用車両の走行に伴う交通混雑(自動車)	【地域・地点】 工事用車両の走行が想定される信号交差点5箇所 【時期】 工事の最盛時等地域社会に最も影響を及ぼす時期	交差点需要率及び無信号交差点の交通容量の算出により交通混雑の程度を予測
工事中の歩行者・自転車の安全	【地域・地点】 工事用車両等の走行が想定される経路 【時期】 工事の最盛時等地域社会に最も影響を及ぼす時期	交通安全対策等に基づき交通安全への影響を定性的に予測

76

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

地域社会(交通混雑、歩行者の安全)

方法書p.6-28~6-30

予測手法 (供用時)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
来園車両等の走行に伴う交通混雑(自動車)	【地域・地点】 来園車両等の走行が想定される信号交差点5箇所 【時期】 対象となる事業が供用を開始し、事業活動が定常な状態になる時期	交差点需要率の算出等により交通混雑の程度を予測
来園車両等の走行に伴う歩行者・自転車の安全	【地域・地点】 来園車両等の走行が想定される経路 【時期】 対象となる事業が供用を開始し、事業活動が定常な状態になる時期	交通安全対策等に基づき交通安全への影響を定性的に予測

77

景観

方法書p.6-31~6-32

調査手法

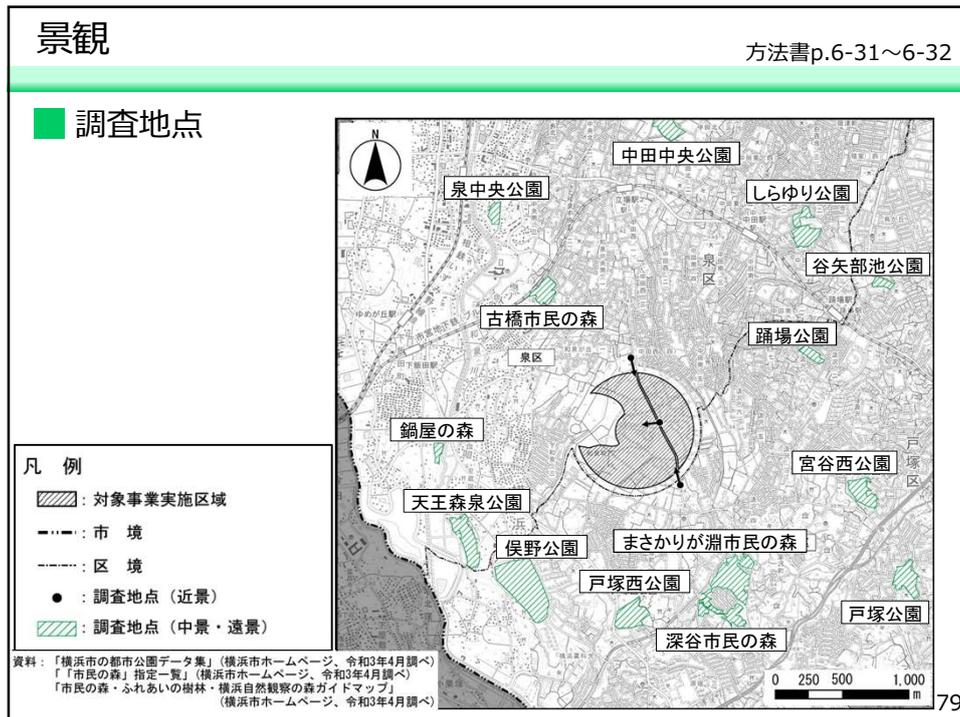
調査項目※	調査方法	
地域景観の特性	資料 現地	既存資料の収集整理及び現地踏査により調査
主要な眺望地点の分布状況	現地	現地踏査により調査
主要な眺望地点からの眺望の状況	現地	現地調査(写真撮影)により把握 ・各主要な眺望点の特性を踏まえて景観の状況が把握できる適切な時期

※主な調査項目を記載

78

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。



景観

方法書p.6-31~6-32

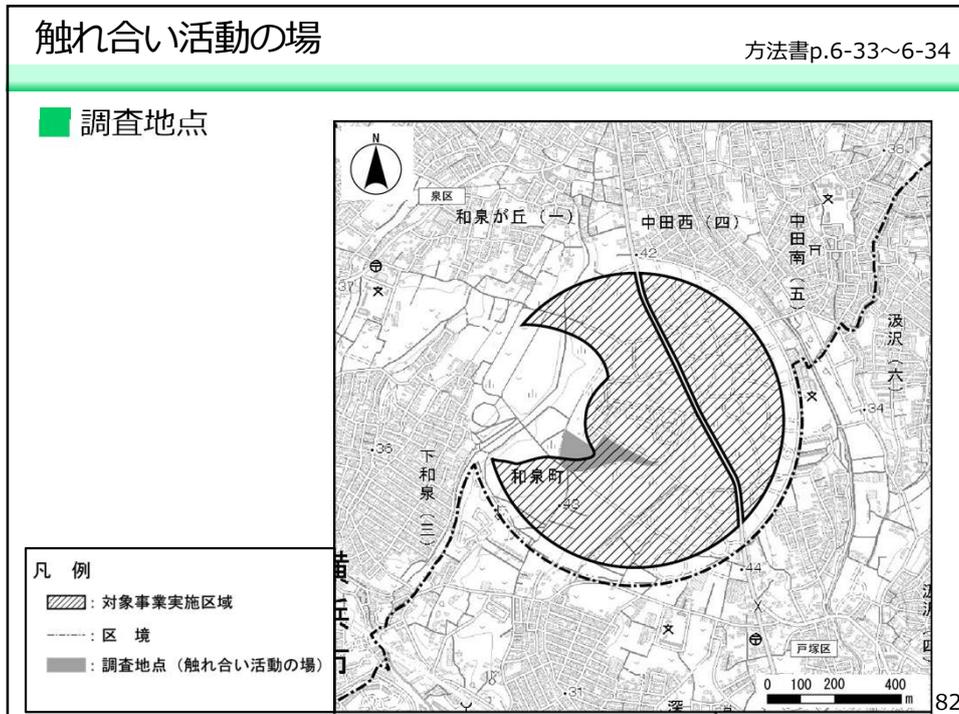
予測手法 (供用時)

予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
施設の存在・土地利用の変化に伴う 主要な眺望地点からの景観の変化	【地域・地点】 主要な眺望地点より、変化する景観状況を適切に把握し得る地点を選定 【時期】 工事完了直後、必要に応じてその後の適切な時期	フォトモンタージュ作成により、眺望の変化の程度を 定性的に予測

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

触れ合い活動の場		方法書p.6-33~6-34
調査手法		
調査項目※	調査方法	
触れ合い活動の場の名称、位置、規模、区域及び分布状況	資料 現地	既存資料の収集整理及び現地調査により調査 ・地点の特性を踏まえて触れ合い活動の場の利用状況が把握できる適切な時期
触れ合い活動の場の活動特性、利用状況等		
触れ合い活動の場までの経路、交通手段		
※主な調査項目を記載		



◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

触れ合い活動の場		方法書p.6-33~6-34
■ 予測手法 (工事中)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
工事の実施に伴う主要な触れ合い活動の場への影響	【地域・地点】 現地調査地点と同一の地点 【時期】 工事期間全体	調査で把握した触れ合い活動の場の状況と施工計画を重ね合わせることで、影響の程度を定性的に予測
■ 予測手法 (供用時)		
予測項目	予測地域・地点・時期	予測方法
施設の使用・土地利用の変化及び来園車両等の走行に伴う主要な触れ合い活動の場への影響	【地域・地点】 現地調査地点と同一の地点 【時期】 工事完了直後、必要に応じてその後の適切な時期	調査で把握した触れ合い活動の場の状況と事業計画を重ね合わせることで、影響の程度を定性的に予測

83

他事業の影響も必要に応じて考慮する項目		方法書p.6-1~6-34
<ul style="list-style-type: none"> ● 下記の環境影響評価項目については、本事業の予測時期において、その時期の他事業の影響も必要に応じて考慮し、影響を予測 		
環境影響評価項目	細則	
大気質	大気汚染	
騒音	騒音	
振動	振動	
地域社会	交通混雑/歩行者の安全	
景観	景観	
触れ合い活動の場	触れ合い活動の場	

84

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「(仮称) 深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

一部供用時の影響も必要に応じて考慮する項目

方法書p.6-1~6-34

- 下記の環境影響評価項目については、必要に応じて一部供用時の来園車両等の影響も考慮し、影響を予測

環境影響評価項目	細則
大気質	大気汚染
騒音	騒音
振動	振動
地域社会	交通混雑／歩行者の安全

85

評価の手法

方法書p.6-1~6-34

環境の保全等に関して、

- ・ 横浜市が定めた計画及び指針等の中で設定している目標
 - ・ 法令等で定められている基準
 - ・ 地球環境に著しい影響を及ぼさない水準
- 等



「環境保全目標」を設定

「環境保全目標」と予測結果との対比により、評価

※結果等については、今後作成する準備書にて、お示しいたします。

86

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

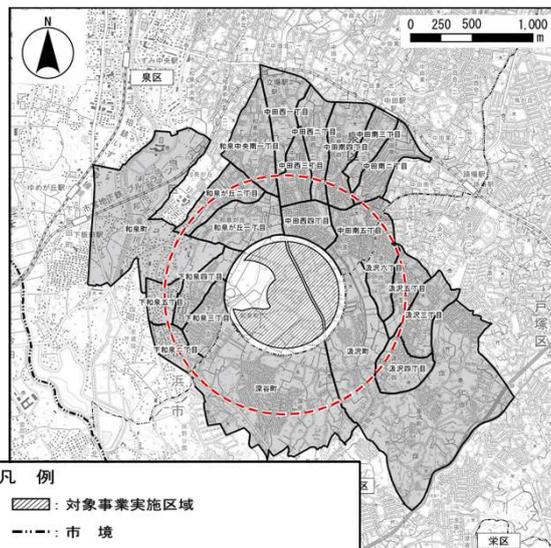
◆この資料は「(仮称)深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

6 方法書対象地域

87

方法書対象地域

方法書p.7-1~7-2



区町丁名	周知地域
戸塚区深谷町	全域
戸塚区汲沢町	全域
戸塚区汲沢町 三～六丁目	全域
泉区和泉町	全域
泉区下和泉 二～五丁目	全域
泉区和泉が丘 一～二丁目	全域
泉区和泉中央南 一丁目	全域
泉区中田西 一～四丁目	全域
泉区中田南 二～五丁目	全域

凡 例

 ■：対象事業実施区域
 - - -：市 境
 - · - · -：区 境
 ■：方法書対象地域
 - - -：深谷通信所跡地の敷地境界から約500m

88

◆この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取扱いにご注意願います。

◆この資料は「（仮称）深谷通信所跡地公園整備事業 環境影響評価方法書」の内容を抜粋したものです。

ご清聴ありがとうございました